

### Ⅲ. 2014年度総会および春季研究発表会のご案内

#### 1. 2014年度総会および春季研究発表会のご案内

日本マス・コミュニケーション学会 2014年度総会および春季研究発表会を別記の通り開催いたしますので、ご参集のほどお願い申し上げます。

2014年4月10日

日本マス・コミュニケーション学会会長	谷藤悦史
同 企画委員会委員長	小林直毅
同 企画委員会副委員長	福岡良明
同 企画委員会副委員長	吉見俊哉

#### 2. 2014年度総会および春季研究発表会プログラム

期 日：2014年5月31日（土）～6月1日（日）

会 場：専修大学生田校舎 10号館

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

<http://www.senshu-u.ac.jp>

研究発表会本部：10号館3階 10302教室

会員控室：10号館3階 10309教室（お茶の用意があります）

連絡先：専修大学文学部 山田健太会員

fax：044-911-1287 Mail：yamada.kenta@nifty.com

#### ●研究発表論文集（発表予稿集）のオンライン公開について

個人・共同研究発表の発表論文（予稿）の公開サイトは <http://mass-ronbun.seesaa.net/> です（日本マス・コミュニケーション学会のホームページ <http://www.jmscom.org/> からリンクが貼られています）。2014年度春季研究発表会の研究発表論文は5月24日（土）から上記サイトで公開の予定です。

※登壇者の所属については、個人・共同研究発表、ワークショップ・テーマ案の応募書類に記載されたものをそのまま掲載しました。

5月31日（土）

9:00 受付開始（10号館1階ロビー）

10:00 開 会

<午前の部>

10:00～12:00 個人・共同研究発表

#### A会場（10号館3階 10315教室）

司会者：山腰修三（慶應義塾大学）

10:00～10:30 首相と2大政党への好感度におよぼすNHKニュース視聴と対人環境の影響  
—小泉内閣期のパネルデータの分析—

白崎 護（京都大学）

10:30～11:00 有権者のネット利用と保革イデオロギー態度

細貝 亮（世論総合研究所）

11:00～11:40 所信表明演説をめぐる新聞記事のキーワード分析

—首相が示した政策課題は、どう報道されたか—

○小野展克（嘉悦大学）

○岡本 潤（嘉悦大学）

## B会場（10号館3階 10314教室）

司会者：渡辺久哲（上智大学）

- 10:00～10:30 後期中等教育の現場から見た ICT 教育  
松尾祐樹（関西外語専門学校）
- 10:30～11:00 B B Cワールドサービスとパブリックディプロマシー  
—コスモポリタンな「不偏不党」から「客観性」の審判員へ？—  
原麻里子（慶應義塾大学）
- 11:00～11:30 テレビ番組の「視聴質調査」の構築  
藤平芳紀（日本大学）

## C会場（10号館3階 10313教室）

司会者：難波功士（関西学院大学）

- 10:00～10:30 日本統治時代初期の台湾における漢字新聞の研究  
—『漢文 台湾日日新報』（1905年創刊）創刊経緯とその背景を中心に—  
李 佩蓉（龍谷大学大学院 院生）
- 10:30～11:00 戦後サッカー雑誌のメディア的機能  
—読者共同体の変容と教養文化との近接—  
佐藤彰宣（立命館大学大学院 院生）
- 11:00～11:30 現代の男性アイドル像と〈恋愛〉／〈絆〉の様相  
—雑誌分析を通じて—  
西原麻里（関西大学）

## D会場（10号館3階 10303教室）

司会者：関谷直也（東京大学）

- 10:00～10:30 戦後社会とオートメーション  
—消費社会論の視座から—  
新倉貴仁（聖学院大学）
- 10:30～11:00 山谷とその日雇労働者の表象分析  
—1970年代テレビドキュメンタリーの形式的試みとの関係の中で—  
李 旼晧（東京大学大学院 院生）
- 11:00～11:30 福島第一原発事故 メディアは何故現場からいなくなったのか？  
—地元テレビ局への参与観察とリスクコミュニケーションから—  
桶田 敦（TBS）
- 11:30～12:00 福島第一原子力発電所事故後の週刊誌報道の分析と情報の扱われ方  
佐野和美（国立環境研究所）

### <昼の部>

- 12:10～13:30 会長・開催校挨拶、総会（10号館3階 10301教室）  
第6回日本マス・コミュニケーション学会優秀論文賞授与式
- 13:30～14:30 理事会（10号館3階 10312教室／昼食を用意します）  
シンポジウム打合せ（10号館3階 10304教室／昼食を用意します）  
\*一般会員の方の昼食は、学内の学食をご案内いたします。  
予約は一切不要です。当日、自由にご利用ください。

<午後の部>

- 14:30~18:00 シンポジウム1 (10号館3階 10301教室)  
「女性活用」といわれる時代のマス・メディアとジャーナリズム  
司会者: 別府三奈子 (日本大学)  
問題提起者: 飯田裕美子 (共同通信)  
: 堀川恵子 (フリーランス・ディレクター)  
討論者: 藤森 研 (専修大学)  
: 四方由美 (宮崎公立大学)  
: 林 香里 (東京大学)

- 18:10~20:00 懇親会 (9号館5階「キャビン」) 係りがご案内します  
\*懇親会終了後、「向ヶ丘遊園」駅までの無料シャトルバスを運行します。  
出発場所、出発時刻は、当日ご案内します。

第2日 6月1日(日)

- 9:00 受付開始 (10号館1階ロビー)  
9:00~10:00 シンポジウム2 打ち合わせ (10号館3階 10304教室)

<午前の部>

- 10:00~13:00 シンポジウム2 (10号館3階 10301教室)  
「東京オリンピックの80年史」とメディア  
—3・11以降の現代を逆照射する—  
司会者: 西山哲郎 (関西大学)  
問題提起者: 吉見俊哉 (東京大学)  
: 清水 諭 (筑波大学)  
: 山田健太 (専修大学)  
討論者: 真田 久 (筑波大学)

<昼の部>

- 13:00~14:00 ワークショップ打ち合わせ (各ワークショップ会場/昼食を用意します)  
昼食について  
\*一般会員の方の昼食は、学会用臨時営業の学食をご案内いたします。  
当日、食券 (500円) をお買い求めのうえ、ご利用ください。  
食券は、当日、会場受付及び学食前で現金販売いたします。

<午後の部>

- 14:00~16:30 ワークショップ

**ワークショップ1 (10号館3階 10305教室)**

- 日本メディアの沖縄報道  
—現地取材と東京発情報の落差に注目して—  
司会者: 渡辺武達 (同志社大学)  
問題提起者: 具志堅勝也 (沖縄大学)  
討論者: 岩城浩幸 (TBS)  
(企画: 理論研究部会)

**ワークショップ2 (10号館3階 10306教室)**

- ジャーナリストの社会的地位  
—19世紀におけるイギリスの職業団体を参考に—  
司会者: 坂本政謙 (岩波書店)  
問題提起者: 河崎吉紀 (同志社大学)  
討論者: 本田毅彦 (帝京大学)  
(企画: ジャーナリズム研究・教育部会)

### ワークショップ3 (10号館3階 10307教室)

日本の映像コンテンツの海外流通と権利侵害の実相

司会者：川喜田尚 (株式会社ジェイ・スポーツ)

問題提起者：永野行雄 (一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構)  
(企画：放送研究部会)

### ワークショップ4 (10号館3階 10308教室)

初期テレビドラマの形成とその変容

—「実験の時代」から「安定の時代」へ—

司会者：村上聖一 (日本放送協会)

問題提起者：松山秀明 (東京大学大学院 院生)

討論者：藤田真文 (法政大学)

(企画：メディア史研究部会)

### ワークショップ5 (10号館3階 10311教室)

打開できるか警察主導 事件事故報道の匿名実名問題

司会者：浅野健一 (同志社大学)

問題提起者：宮下正昭 (鹿児島大学)

(企画：宮下正昭会員)

### ワークショップ6 (10号館3階 10310教室)

自殺報道と自殺予防・自殺対策

司会者：野上 元 (筑波大学)

問題提起者：千代崎聖史 (毎日新聞社)

(企画委員会特別企画)